

アイルランド空手交流記①

新会員 宇野 健一郎

今年1月から環境21の会に入らせて頂きました行政書士の宇野健一郎と申します。
学生時代はバレーボールと空手に明け暮れ、今も続く明石の幼なじみや大学の空手部・学生寮の仲間達との交流がかけがえのないものとなっています。15年前に親族の相続に直面したことがきっかけになって、法律を勉強して資格を取り還暦後に行政書士事務所を開業しました。
70歳から縁あってアイルランドとの空手交流そして民間交流に取り組んでいます。
アイルランドのドロヘダには私の古くからの知人（日本人）が英語の通訳として35年間暮らしています。その旧友と旧友の友人（アイルランド人）がドロヘダのパブで私の歓迎会を開いてくれました。この街は音楽が盛んで、地元の人々がアイルランドの音楽を披露してくれました。お返しに私が空手の演武をしました。



アイルランドでは小さな村にでも数軒のパブがあります。アイルランドの人にとっては貴重なコミュニケーションの場所になっています。パブでは健常者も障害者も分け隔てなく楽しい時間を共有しています。
旧友の知り合いである空手師範のナルティ夫妻とは、偶然ドロヘダの近くの海岸で出会い翌年はナルティ空手道場を訪問することを約束して帰国の途につきました。

今後の活動スケジュール

令和7年4月～活動予定

月 日		場 所	内 容
4月2日	水	明舞まちづくり交流拠点	例会・理事会
4月27日	日	五色町	ケナフ畑準備 ケナフ種まき
5月7日	水	明舞まちづくり交流拠点	例会・理事会
5月11日	日	播磨町中央公民館	いきいき体験隊 開講式
6月4日	水	明舞まちづくり交流拠点	総会・理事会
6月7日	土	五色町	ケナフ植草祭
6月22日	日	播磨町中央公民館	いきいき体験隊「環境教室」 第1回

クイズ解答：問題1② 問題2① 問題3② 問題4① 問題5③

【会員随時募集中】

地球温暖化防止活動などに関心がある方、下記事務局に連絡をお願いします。

〒673-0862 明石市松が丘2丁目2-6

明舞第2センタービル2階 明舞まちづくり交流拠点内

NPO法人 環境21の会事務局

電話&FAX: 078-914-5546

Eメール: kankyo21@zeus.eonet.ne.jp

ホームページ: <http://www.eonet.ne.jp/~kankyou21noka>



編集後記

昨年の夏は異常に暑く、今冬は異常に寒く、大雪の被害も出ています。また異常乾燥から山林火災も世界中で起きています。異常気象は益々厳しくなってきましたので、国民一人一人がしっかりと対策しなければなりません。私達はできることを確実に実行し、「NOW」で発信してまいりますのでよろしくお願い致します。

環境ニュースレター 春号

Vol. 64



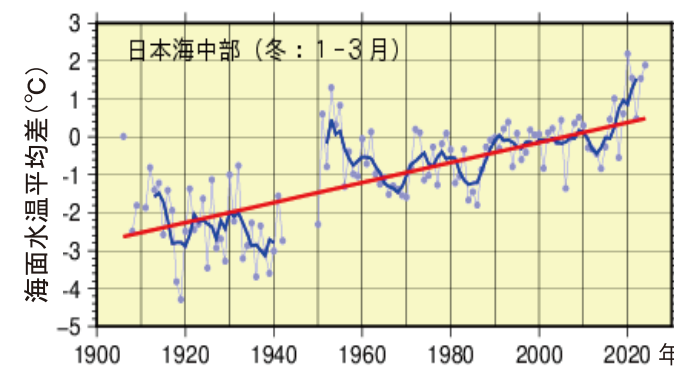
発行者 NPO 法人 環境21の会 理事長 松本 弘
明石市松が丘2丁目2-6
明舞第2センタービル2階 明舞まちづくり交流拠点内
Eメール: kankyo21@zeus.eonet.ne.jp
<http://www.eonet.ne.jp/~kankyou21noka>
発行: 春・秋・年2回

特定非営利活動法人 環境21の会

～海洋の温暖化が見逃せない～

昨年の夏、世界の平均気温が過去最高になることを受けて、国連の事務総長グテーレス氏は記者会見で「地球温暖化の時代は終わり地球沸騰化の時代が来た」と発言しました。「地球沸騰化」という表現を用いて世界中に警鐘を鳴らしたのでしょう。ちょうどその頃、気候変動のティッピングポイント（転換点）に達する可能性についての記事を目にしました。その時以来、温暖化防止活動を続けてきた者として不安と困惑の複雑な気持ちが続いています。

さて今年の冬、日本海側の地域では例年にない大雪続きで市民生活が大きな影響を受けました。このドカ雪の原因を説明する気象予報士の話に日本近海の“海水温の上昇”が加えられました。この説明によって大雪や大型台風の襲来などには海水温が関係していることを多くの人が認識するようになっていきます。



今から8年前の2017年6月「兵庫ケナフの会」「環境21の会」共催の環境セミナーが神戸生活創造センターで開催されて会のメンバーであった渡邊雄一氏に「気になる地球温暖化～海洋の温暖化が見逃せない～」と題して講演をお願いしました。当時は、大気中の二酸化炭素量ばかりが気になっていましたが、海洋には更に多くの温

室効果ガスが吸収・貯蔵されている状況を注視しなければならないことを学びました。その時以来、海水温の上昇が常に気になっていたところでした。予測通り近年地球上のあちこちで自然災害が強大化しています。温室効果ガスの排出削減を意識して推し進めなければならないことは言うまでもありません。環境セミナーは、2001年から2017年まで毎年開催され、「気になる地球温暖化」を様々な角度から学習し、会のメンバーは“ケナフ”を通して実践活動を続けてきました。この年で会場の神戸生活創造センターが移転することが決まっていた“環境セミナー”は終了となりました。8年前の講座のタイトルがそのまま現在に当てはまることを受け止め最後のセミナーからの警鐘を今後につなげなければならないと思っています。

会員 佐藤 和子

令和6年10月～令和7年3月活動実績

1. 西宮市宮水ジュニア「科学体験教室」(冬期 12 月～3 月)高木公民館で実施。

- 12月14日 「地球温暖化と省エネ」を学習し、照明器具や電気製品の待機電力など省エネ実験。
1月18日 「自然エネルギー・太陽光発電」を学習し、太陽光発電による電子オルゴールを工作。
2月15日 「森のはたらきと炭の効用」を学習し、竹炭を使って炭電池を作り発光ダイオード点灯実験した。
3月 1日 「自然エネルギー・風力発電」を学習しペットボトルで風車を作り発電実験、記念品授与した。



2. 播磨町中央公民館 いきいき体験隊「おもしろ科学体験・工作教室」

- 10月13日 「自然エネルギー・太陽光発電」を学習し、太陽光発電による電子オルゴールを工作。
11月 3日 「太陽光(紫外線)」を学習し、分光器を作り紫外線波長による影響実験し、UV チェッカー工作。
12月 8日 「森のはたらきと炭の効用」を学習し、7色 LED 点滅するミニクリスマスツリーを作った。
2月 9日 「自然エネルギー・風力発電」を学習しペットボトルで風車を作り発電実験をした。
3月1～9日 いきいき体験隊フェスタ 科学体験教室での工作物を展示出展した。



3. まちの寺子屋(淡路分校)

- 12月 7日 「ケナフ収穫、ケナフ種採取、ケナフ炭袋詰め作業」

4. その他

- 11月17日 三木市民活動センター みきボランティアフェスタ
パネル展示し、UVチェッカーとケナフストラップ工作
12月22日 三木市民活動センター
(ダンロップ環境教室)
「地球温暖化と森のはたらきと炭の効用」を学習し、7色 LED 点滅するミニクリスマスツリーを作った。



肩のこらない環境クイズ

今回は地球温暖化に関する問題にしました。四者択一です。正解は4頁に掲載しています。

- 問題 1 世界の海面上昇は約150年間でどのくらい上昇したでしょうか？
① 1メートル ② 20センチ ③ 10センチ ④ 30センチ
- 問題 2 世界の平均気温は約150年間で何度上昇したでしょうか？
① 約 1.09 度 ② 約 2.09 度 ③ 約 0.09 度 ④ 約 1.9 度
- 問題 3 地球 温暖化の原因になる二酸化炭素やフロンなどの気体をまとめて何と呼ぶでしょうか？
① 汚染ガス ② 温室効果ガス ③ 脱炭素 ④ 再生可能エネルギー
- 問題 4 脱炭素(カーボンニュートラル)とは温室効果ガスの①と②を同じにすることです。さて①と②は何でしょう？
① 排出量と吸収量 ② 排出量と使用量 ③ 生産量と使用量 ④ 排出量と消費量
- 問題 5 郊外に比べ、都市部ほど気温が高くなる現象を何というでしょうか？
① 温暖化 ② ヒートテック ③ ヒートアイランド ④ ヒートショック



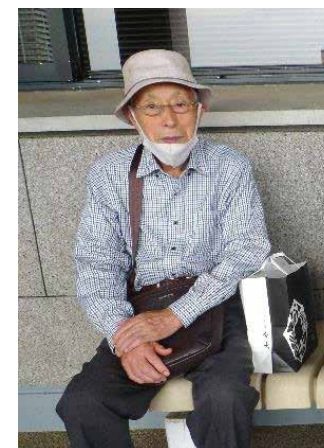
元理事長 塩野 勝氏のご逝去

理事長 松本 弘

昨年12月13日 元理事長 塩野 勝氏がお亡くなりになりました。10月に肺炎を患われて入院されたとお聞きして、心配していましたが、再びお元気なお姿を見せていただくことは叶いませんでした。13日夕方、一報を受けて祈る気持ちでおりましたが、その夜の8時過ぎに息を引き取られたそうです。最後まで意識がしっかりされており、ご家族ともお別れができたそうです。あと数日で94歳になられるところでした。ご子息のお話では亡くなられた13日は金曜日、土曜日、日曜日の休日に葬儀が行われたこと、それに合わせて、ご近所にある葬儀屋さんがたまたまその日が空いていたこと、などから偶然とはいえ塩野さんが土曜日まで生き抜き、その段取りがスムーズにいくように仕組みられたようですとお話しされ、私達もその土曜日の午前中は出前教室で出かけていましたので、その帰りに会員一同が塩野さんの亡骸にお会いすることができました。塩野さんは生前から几帳面で、何事も整然と確実に成し遂げられる性格は最後まで変わらなかったようです。



塩野さんは当会の発足当初からご尽力され、同僚の竹重 勲氏、渡邊雄一氏(お2人とも故人)と共に当会の礎を築かれました。当会は平成11年(1999年)に共同研究のテーマとして循環型農業を取り上げていた(財)21世紀ひょうご創造協会・21世紀学会の学会員が集まって始めた勉強会が、その発端となり、2004年10月に NPO 法人 認証と共に本格的に、NPO 法人環境21の会が始まりました。塩野さんは初代理事長として当会を2010年までの6年間、指導していただきました。その後、渡邊雄一氏、竹重 勲氏が理事長を引き継がれ、そして現在4代目の理事長として私が塩野さん達、大先輩の思いを引き継いで活動しています。塩野さんの現役時代は生粋の技術屋で、海外でのご活躍もあり、その経験から環境21の会の活動の中にアイデアがたくさん残されています。水力発電機模型、手回し発電で走る鉄道模型、また紙芝居もたくさん作られています。



現在、季刊誌として発行されているこの「環境ニュース NOW」は2007年1月第1号が発刊されましたが、塩野さんの理事長時代に始まりました。「NOW」の語源は環境によいと気づいた瞬間から実行すること、に思いを込めて「今・NOW」としたそうです。後に流行語となった、林先生の「今でしょう」は2013年に流行語大賞を受賞していますが、そのズーと前に「NOW」は発刊されています。私たち活動の合言葉「知っているから、やっている」の精神は今も引き継がれています。

本当に長い間お世話になりました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。